



新メンバーのご紹介

当センターに2020年4月より
着任したスタッフからの
メッセージをご紹介します。

(写真左から)



飯島 大樹 (いじま だいき) ●医療福祉支援室 MSW

至らない所も多いかと思いますが、患者さん・ご家族・皆様のお役に立てるように頑張ります。よろしくお願
いいたします。

水野 凜 (みずの りん) ●入院支援室

少しでも早く一人前に入院や転院の業務をこなせるよ
う精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。

石田 陽子 (いしだ ようこ) ●医療福祉支援室 看護師

新しい部署で慣れないことも多いですが、周囲のスタッ
フと協力して、患者さんへの支援ができるように頑張っ
ていきたいと思ひます。

森田 純一 (もりた じゅんいち) ●医療連携支援センター事務局

新たな部署で不慣れな事もございますが、多職種によ
る当センター内の潤滑油になれるように、一生懸命取
り組みたいと思ひます。



医学部附属病院
Tokyo Medical and Dental University

医療連携だより



御茶の水通信
No.23

東京医科歯科大学医学部附属病院の理念と基本方針
●理念：安全良質な高度・先進医療を提供しつづける、
社会に開かれた病院
●目標：1. 患者中心の良質な全人的医療の提供
2. 人間性豊かな医療人の育成
3. 高度先進医療の開発と実践
4. 国民のニーズに応える開かれた病院

医療連携支援センター TEL: 03-5803-4655
(地域連携室) FAX: 03-5803-0119
予約専用FAX: 03-5803-0285



新型コロナウイルス感染症対策基金にご協力ください

<http://www.tmd.ac.jp/medhospital/covid-19/contribution/>

東京医科歯科大学は2つの基本理念で、新型コロナウイルス感染症に正面から取り
組んでいます。

- 東京医科歯科大学では「医学部附属病院における新型コロナウイルス
感染重症・中等症陽性患者の受入体制の構築」を、最優先事項に位置
付け、全学的な支援を行っております。
- ポスト新型コロナウイルス感染症の社会に備えた医療体制を整えます。
ご理解、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



メールマガジンに ご登録ください!

医療連携支援センターでは、
メールマガジンを発行しており
ます。
配信をご希望される場合は、
地域連携室へお電話をお願い
いたします。

TEL: 03-5803-4655

医療機関からの初診事前予約について お問い合わせ先 03-5803-4655 (地域連携室)

FAX予約
の場合 FAX: 03-5803-0285
(受付時間 8:30 ~ 16:00)



電話予約
の場合 TEL: 03-5803-4655
(受付時間 8:30 ~ 16:00)



上記番号に、紹介状・申込書を送信してください。
速やかに当院よりFAXで「外来診療予約票」を返信し
ます。

上記番号に、電話をおかけください。
その際に患者さんの氏名・生年月日・希望診療科名・
予約希望日をお知らせください。

*土日祝祭日・年末年始(12月29日~1月3日)、および受診当日の予約は受け付けておりません。また、翌日分の予約は14時までとなっております。
*時間外・休日などの申込みは翌診療日にご連絡させていただきます。(FAX受信は24時間可能)

カルテ閲覧の ご案内

当院と連携協定を結んでいる医療機関様に限り
地域連携システムを利用して、当院カルテの閲覧が可能になります

連携医療機関様の大きな負担
なしで利用可能です

インターネットに接続できるパソコン
が1台あればOK!
上記の要件を満たし
ていれば、既存の端
末を使用しても構い
ません。



要件

1. インターネットに接続できる環境があること。また、
PCの設置場所は施錠できる環境にあること。
2. Microsoft社のサポート期間内のOSにて動作する
パソコンを使用すること。
3. Microsoft社のサポート期間内のInternet Explorer
を使用すること。
4. 有償のウイルス対策ソフトを実施し、Winnyなどのフ
ァイル共有ソフトを削除すること。
5. PDFファイルの閲覧にはAdobe社のサポート期間内
のPDF閲覧ソフトを使用すること。

★これらの要件を満たしていれば、申込みいただけます!

1. 申請書の提出。
 2. 提出いただいたのち、接続さ
せていただけるか検討いたし
ます。
 3. 決定後、順次連携医療機関
様へ伺って、接続を行います。
- ※申込み多数の場合は、利用するまで
にお時間がかかる場合がございます。

連携協定及びカルテ閲覧の申込み 医療連携支援センター 03-5803-4391

東京医科歯科大学医学部附属病院 医療連携だより 23号 (2020年8月発行)
発行 〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45 東京医科歯科大学医学部附属病院医療連携支援センター
TEL: 03-5803-4655 FAX: 03-5803-0119 予約専用FAX: 03-5803-0285 <http://www.tmd.ac.jp/renkei/>

本書の無断複製(コピー)は著作権法上の例外を除き、禁じられています。



ご挨拶

ご紹介を受けた患者さんが安心して受診できるよう
新型コロナウイルス感染症の診療とは完全に切り離れた
体制を整えています

東京医科歯科大学医学部附属病院 病院長
内田 信一

当院では、新型コロナウイルス患者さんの増加に応じて、まず目の前の新型コロナウ
イルス患者さんの救命と治療を行う事を最優先と考え診療に当たってまいりました。その際、
しっかりと感染対策をとり、幸い院内感染を起こさずに今に至っております。

その間、新型コロナウイルス感染症以外の患者紹介につきましては、ご不便・ご迷惑を
おかけし、大変申し訳なく思っております。

首都圏の緊急事態宣言が解除され、現在少しずつ以前の診療体制へ戻しつつあり、6月
1日より初診事前予約体制が通常に戻りました(一部診療科を除く)。

また、今回の予約をお持ちの再診の患者さんは、通常通り受診していただけます。7月上
旬からは救命救急センターでも通常の救急患者の受け入れを再開し、コロナ医療と非コ
ロナ医療の両立と院内感染ゼロを継続して推進してまいります。

今後も、新型コロナウイルス感染症の診療は、一般患者さんと動線ならびに診療区域を
完全に分けて行い、院内感染防止には十分留意して行っておりますので、ご安心して患
者さんのご紹介など、従来通りの連携を継続して頂きますようお願いいたします。



医療連携支援センターの役割

- 紹介患者さんのスムーズな受け入れ
- 医療機関からの初診事前予約受付
- 入院・退院患者さんとそのご家族のサポート
- その他の医療・福祉相談

TOPICS

- 病院長のご挨拶
- 病院長対談
- 初診事前予約再開のお知らせ
- 救命救急センター診療再開のお知らせ
- 入院支援室とテレビ会議で情報共有しよう
- 新型コロナウイルス感染症特設サイトについて
- 副病院長・病院長補佐ご紹介
- 認定看護師のご紹介「第1回感染管理分野」
- 当センター新任スタッフのご紹介



大川 淳

理事・副学長
(医療・情報担当
整形外科学教授)

病院長対談

4月に就任した内田信一新病院長(腎臓内科学教授)と、3月まで4年間病院長を務めた大川淳理事・副学長(医療・情報担当/整形外科学教授)が病院経営について話し合いました。

内田 3年間の病院長時代を振り返って一番努力されたことは?

大川 経営改善です。そのために『9010』つまり、病棟の稼働率を90%、平均入院日数を10日にするという具体的な目標を設定しました。

内田 限られた病床を効率的に稼働させるために導入したのが診療科ごとにフロアを分ける体制を見直し、全診療科による病床の有効活用を進めたことですね。

大川 そうです。病床を全診療科で有効活用するために、異なる診療科の患者さんが入院できるよう病棟のクラスター化を進めました。

内田 これによってチーム医療が推進し、新型コロナウイルス感染症対策にも生かされたと思いますが、ご苦労もありましたよね?

大川 病棟ごとに単一の診療科の患者さんを診てきたために、病棟の医療スタッフには扱ったことのない疾患の患者さんに対する看護や診療の知識を習得してもらうことになり、負担をかけましたが、その努力が今回のコロナ対応に大いに役立ちました。反面、経営状況は厳しくなりましたが、大きな社会的使命を担う国立大学病院としては、医療崩壊を防ぐために、コロナ患者さんの最後の砦となるよう準備しておく必要がありました。

内田 道なき道を切り開く...という大川病院長時代の実行力は凄いと感じていましたが、今回の新型コロナウイルス感染症対応に関しても、トップの判断を具現化していく病院スタッフの結束力と問題解決能力の高さを知りました。



医学部附属病院と歯学部附属病院の機能を効率的に医療現場に生かすために「機能強化棟」の建設を進めています。

た。120人が参加する朝のウェブ会議では、提示された問題に対して、異なる専門職の職員たちから次々と意見が出て、議論が深まり、最終的には解決策が見えてくるといふ素早い意思決

道なき道を切り開く経験が新型コロナウイルス感染症対策に役立っています



元気になった重症の陽性患者さんを囲んで笑顔がみられる医療スタッフ

定能力を持つ病院に成長できました。診療科ごとの縦割り、サイロ化した組織では実現できない、情報共有、全員参加型組織の強みを発揮できたと思います。



新型コロナウイルス陽性患者専用病棟でタブレットを使って診療

大川 病院内での連携、協力体制を、ぜひ医療機関の皆様との関係にも役立てたいですね。紹介、逆紹介という一人の患者さんを通じて生まれた連携によって、病院間の情報共有が活発になり、それがより良い医療の提供につながっていけば患者さんにも医療機関にもメリットになります。医科歯科に紹介したらこんなに良いことがあった、ここは改善して欲しい...など、情報を共有し合い解決していくことが大切だと思います。

内田 2022年6月に完成予定の機能強化棟の工事も進み、歯学部附属病院との一体化も4月からのコロナ対応で、少しずつ方向性が見えてきたように思います。

大川 トータルヘルスケアを提供するという目標に向かって、口腔内をはじめ全身を診ることができ世界でもトップレベルの医療を提供する病院に成長していきたいと考えています。

内田 そのためには連携医療機関の皆様のご協力が不可欠です。我々は400人以上のコロナ関連患者さんを受け入れましたが院内感染も発生せず、安心・安全な医療を提供し続けています。首都東京を守る特定機能病院として、今後もコロナ対応の医療を提供していきませんが、通常の患者さんを受け入れる体制もしっかり整えておりますので、ぜひご紹介ください。

内田信一

病院長 (腎臓内科学教授)

Column 01

初診事前予約再開のお知らせ

新型コロナウイルス感染症の対応に伴い、初診事前予約枠縮小または停止をしておりましたが、一部診療科を除き再開いたしました。ご紹介いただいた医療機関の皆様および患者さんにはご不便、ご迷惑をおかけし、誠に申し訳ございませんでした。

安全・感染対策の徹底により、ご紹介頂いた患者さんに安心してご来院頂き、満足頂ける医療を提供できるよう鋭意心掛けて参ります。ご紹介の程、よろしく願いいたします。

初診事前予約は、以下の番号へご連絡ください。また、患者さんからもご予約を承っております。

・地域連携室(初診予約電話) TEL: 03-5803-4655

医療機関から平日 8:30-16:00

患者さんから平日 12:00-16:00



Column 02

救命救急センター診療再開のお知らせ

新型コロナウイルスの流行に伴い、皆様のご施設におかれましても診療に多大な影響を受けていらっしゃると思います。当院救命救急センターも新型コロナウイルス感染症診療専従の時期を経てようやく通常救急診療を再開することができました。「With コロナ時代」に適応し、重症新型コロナウイルス感染症診療とともに従来の救命救急センターとしての責務を果たすべく改めて邁進してまいります。

これに伴い、皆様の施設で対応に難渋する重症症例のご紹介受け入れにつきましても再開させていただきます。当センターでは以前より救急外科部門に力を入れており、急性腹痛など緊急手術を要する症例も是非ご紹介ください。新型コロナウイルス感染症病床確保のため救急病床数が限られておりますが、可能な限り対応させていただきます。

皆様の診療のお力になれば幸いです。

・プライオリティーコール TEL: 03-5803-4900 (至急応援)

Column 03

患者さんの退院後の生活を見据えて、テレビ会議による情報共有をしましょう

新型コロナウイルス感染症の影響により病院への来院も制限され、顔を合わせての情報共有ができない状況にありました。そのため私たちもテレビ会議(Zoom等)にチャレンジしました。テレビ会議は画面越しに患者さん、ご家族、そして患者さんの退院後の生活を支えてくださる地域の方々話し合うことができます。感染予防のみならず、移動時間や距離を気にせず効率的に情報共有ができることも分かりました。

テレビ会議の参加方法はとても簡単です。ぜひ皆さんもやってみませんか? お気軽にご連絡ください。

なお、これまで通り対面での情報共有も行っております。

・入院支援室

TEL: 03-5803-5278(平日8:30~17:15) FAX: 03-5803-0254

Column 04

新型コロナウイルス感染症特設サイトについて

当院の新型コロナウイルス感染症対策に関する情報や取り組みを掲載しています。

<http://www.tmd.ac.jp/medhospital/covid-19/>



副病院長・病院長補佐をご紹介します。
今後ともよろしく申し上げます。

副病院長		
	藤井 靖久	ふじい やすひさ 医療安全
	小池 竜司	こいけ りゅうじ 診療・地域連携
	荒井 裕国	あらい ひろくに 手術・先進医療
病院長補佐		
宮崎 泰成	みやざき やすなり	診療整備・内科
堤 剛	つづみ たけし	診療整備・外科
高橋 弘充	たかはし ひろみつ	メディカルスタッフ
藍 真澄	あいますみ	診療報酬
泉山 肇	いずみやま はじめ	医療連携・広報
小池 竜司	こいけ りゅうじ	臨床研究
工藤 篤	くどう あつし	安全管理・感染
伏見 清秀	ふしみ きよひで	医療国際化・QMC
立石 宇貴秀	たていし うきひで	BCP・危機管理
宮坂 尚幸	みやさか なおゆき	小児・周産期
大友 康裕	おおとも やすひろ	救命救急
若林 健二	わかばやし けんじ	集中治療
植木 穂	うえき 穂たか	災害
武内 寛明	たけうち ひろあき	ウイルス制御
秋葉 泰樹	あきば やすき	経営改善
浅香 えみ子	あさか えみこ	サービス・環境整備
川崎 つま子	かわさき つまこ	患者相談

シリーズ 認定看護師の紹介 第1回 感染管理分野

当院で活躍する認定看護師を紹介します

(写真左から)

千葉 尚子
小野 和代
渡邊 由香



私達、3名の感染管理認定看護師は、それぞれの立場で院内外の感染制御活動に携わっています。そんな中で、未曾有の「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対応」に臨み、未知の感染症で先が見えない中、大学一丸となって取り組みました。基礎系から臨床まで、職種横断的に力を結集し、提供し続けた医療は当大学の誇りです。

感染制御は、平時からの基本的対策の徹底が基盤です。またそれと同時に、現在の医療提供体制を鑑み、自施設のみならず、地域を視野に入れた感染制御の取組みが重要です。情報共有、感染対策の協力・連携・支援、人材育成等、地域の施設の方々と力を合わせて継続的に取り組む必要があります。そして、医療従事者だけでなく、患者さんを含めた一般の方々にも感染症の伝播リスクや特殊性に関して理解を深めていただく「リスクコミュニケーション強化」を図っていききたいと思います。